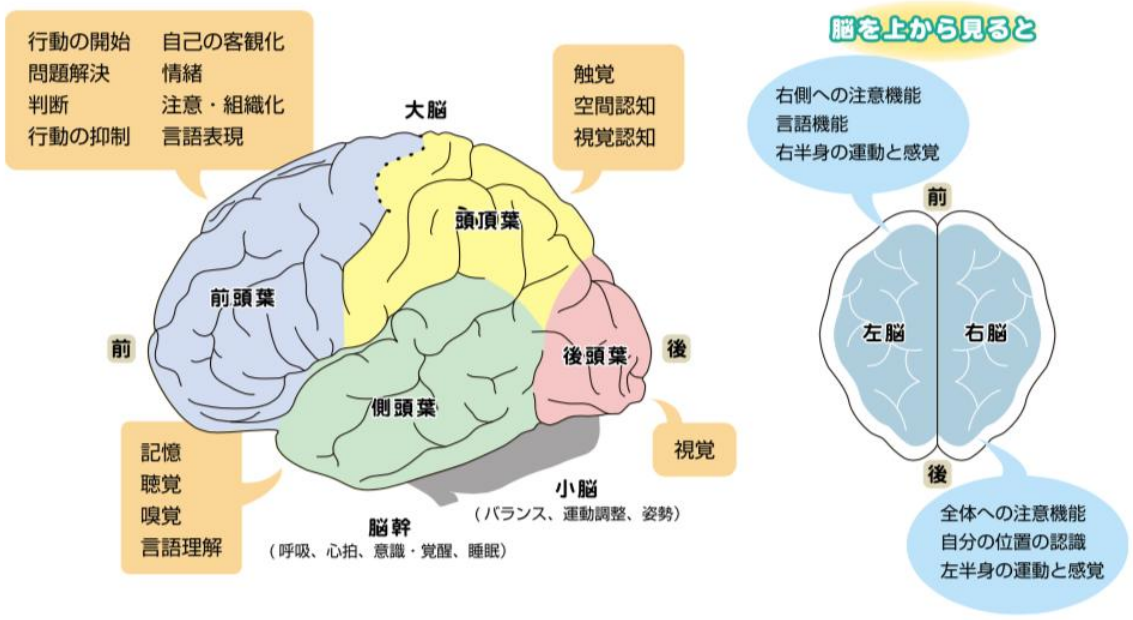
高次脳機能障害とは

高次脳機能障害とは、病気や交通事故など、様々な原因によって脳に損傷をきたしたために生ずる、言語能力や記憶能力、思考能力、空間認知能力などの認知機能や精神機能の障害を指します。
日常生活面では、例えば、今朝の朝食の内容が思い出せなくなった(記憶障害)、仕事に集中できなくなった(注意障害)、計画が立てられなくなった(遂行機能障害)、言葉が上手に話せなくなった(失語症)、人の話が理解できなくなった(失語症)、歯ブラシ使い方が分からなくなった (失行症)、道に迷うようになった(地誌的障害)、左側にあるおかずが目にとまらず残してしまうようになった(左半側空間無視)など、様々な症状がみられます。



【高次脳機能障害の変化と回復】

・何年もかけてゆるやかに変化していきます。回復の状況によっては、再び職業生活に挑戦することもできます。
・人それぞれ違う障害の特徴を、周囲が理解しサポートする必要があります。
・思いがけない病気や事故による障害のため、本人や家族にとって、以前との違いを理解し受け止めるのに時間がかかります。

東京都心身障害者福祉センター　「高次脳機能障害の理解と支援の充実をめざして2025年版」　引用